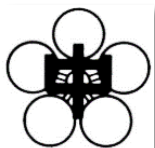


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一步前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和2年度 第 1号
令和2年 4月 13日
校長 水谷 智子

令和2年度が始まりました。ご入学、ご進級おめでとうございます。加賀中学校三年目になりました校長の「水谷(みずがひ)智子」です。よろしくお願いいたします。今年度、加賀中学校は434名の生徒でスタートします。今年度は、新学習指導要領移行最終年度、小中一貫教育のスタート、板橋区コミュニティ・スクール、働き方改革など、様々な点で『新しい時代』の始まりの時です。本校でも、小中の学びの連続性を生かした授業づくりや行事のあり方など、様々な教育活動を大幅に見直す改革に取り組んでおります。また、男女共同参画など人権尊重に向けた取組についても、一層推進してまいります。

しかしながら、現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業措置がとられており、学校再開についても不透明な状況です。子どもたちの心身の健康や学力・体力の保持増進など、考えなければならないことは山のようにあります。誰も経験したことのない、『未曾有の事態』ではありますが、「『今』『この』子どもたちに何が必要か？」を常に念頭に置き、教職員一同『チーム加賀中』一丸となって、保護者・地域の皆様と手を携えながら、取り組んでまいり所存です。白梅学びのエリア全体で、子どもたちの『命を守り、未来を育む』学校づくりを実現していきましょう。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

『陽はまた昇る』 ～希望をもって、毎日必ず一步前進～ (始業式講話から)

第二次世界大戦の時、ナチスの強制収容所から奇跡の生還を遂げた、ユダヤ人の精神科医ヴィクトール・フランクルという人が書いた『夜と霧』という本があります。強制収容所の過酷な環境の中では、多くのユダヤ人がその命を落としましたが、フランクルは、精神科医として、収容所の様子を克明に記録しました。「ここを出た時、世の中の人たちにこの収容所のことを伝える」ということを、自分の使命＝ミッションと考えたからです。その本の中には、環境が人間の心の有り様をどう変えるのか、また、心と体の関係性などについて、詳しく書かれています。その中に、「クリスマスには開放されるだろうと期待していた人たちが、その願いが叶わなかった時、絶望の中で衰弱していった」というエピソードがありました。「収容所を出た後のことに“希望”を持ち続けた人だけが生き長らえていった」という事実は、先が見えない不安の中で生きる今の私達に、『困難な状況の中でも希望を失わないことの大切さ』を教えてください。

陽はまた昇ります。今しばらくは嵐の過ぎ去るのを待ちましょう。「学校再開の日が来たら、こうしよう、ああしよう」と、希望を持ち、節度をもって、毎日の生活を送って下さい。

◎臨時休業期間中についてのお願い

- ・休業期間中も、週1回は、健康状態や学習の進捗状況確認の機会を設けます。電話連絡等での対応になります。加賀中ホームページに随時お知らせを掲載しますのでご確認ください。
- ・毎日、健康状態を確認し、本人及び家族の方に何かありましたら、学校までご連絡下さい。
- ・生徒・保護者様への連絡は、緊急連絡メールにて行います。必ず受信できるよう、速やかに登録をお願いします。ご事情により登録できない方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡下さい。
- ・休業期間中は、教職員も在宅勤務が基本となっておりますが、お子様のことで困ったことや心配なことなどがありましたら、学校までご連絡下さい。
- ・学校ホームページには、連絡事項のほか、学校生活の様子や先生方からのメッセージを載せた『学校日記』もあります。ほぼ毎日更新されますので、時々ぞいてみて下さい。

創立60周年記念オリジナルキャラクター「かがもん」です。カルガモの妖精ですが、時々皆さんのところにも出現します。これからも加賀中学校の皆さんを応援していきたいと思っています。よろしくお願いいたします！

My name is Kagamon.
I love Kagachu.
Thank you.



Kaga junior high school
60th Anniversary